

平成23年度 森プロ事業実績：中濃森プロ

(平成24年3月末現在)

		H19～22年度		H23年度			5カ年 計画	
		計画	実績	計画	実績	達成率		備考
集約化(ha)		46	135	0	0	0%		46
作業道(m)		5,900	5,175	1,100	0	0%	作業路含む	7,000
間伐等	面積(ha)	225	138	25	31	124%	利用+切捨	250
	材積(m3)	8,400	2,965	800	473	59%		9,200
備考		団地外実績(利用間伐29ha、搬出材積821m3、作業路開設2,286m)						

H23年度利用間伐等における所有者への還元額(補助金含む) 3,817円/m3

施業集約化の状況

施工状況報告会を事業地にて開催。



施業プランの活用状況

プラン書にて個別に説明し承諾を得ている。

施業プランナーの養成状況

・森林施業プランナー：4名(H20.21.22.23各1名)

財産区管理者を招いての採材及び状況報告。

団地内作業システムの状況

- ・今年度は、作業路開設せず、既設林道で下記のシステムにより実施。  
チェーンソー(伐倒) スイングヤーダ(集材) チェンソー(造材) グラップル(積込)

組合直営班による作業状況

高性能林業機械導入に向け機種選定のためデモ機での作業。



スイングヤーダによる集材



グラップルによる積込

{参考} 団地外作業システムの状況

平成23年度 素材生産性 4.1 m<sup>3</sup>/人・日

メインシステム: チェンソー(伐倒) グラップル(集材) ハーベスタ(造材) フォワーダ(運材) グラップル(積込)

状況にあわせて、スイングヤードで道まで集材する方法も選択



グラップルによる集材・積込



丸太組工施工状況

その他

作業システムや作業道開設技術を修得するための自主的研修・視察の実施および視察の受け入れ。

<自主研修・視察>

- ・ 低コスト木材生産システムによる間伐研修会
- ・ 林建協働 林業現場研修
- ・ 林業先進地視察(架線集材)

<視察受け入れ>

- ・ 関ヶ原町森林づくり委員会視察
- ・ 県議会農林委員会視察
- ・ 富山県山林協会視察
- ・ 中濃農林事務所作業道視察
- ・ 京都府綴喜林業振興会視察



低コスト木材生産システムによる間伐研修

森プロの成果

- ・ 新たな森林整備補助制度への対応のため、林産事業の取組体制強化を図ることができた。
- ・ 管内他地区においても施業集約化が実施され、作業道開設と利用間伐の機運が高められた。
- ・ このプロジェクト実施期間中に開設した作業道(団地外含む)全てについて現状を確認したが大きな崩壊等は無く、丈夫で壊れにくい作業道開設を実践できた。

今後の課題

- ・ 更なる集約化の推進のための施業プランナー活用と新たな人材の養成。
- ・ 直営林産班の伐倒・造材・集材技術の向上と搬出コストの低減。
- ・ 限られた高性能林業機械やレンタル機械を効率的に活用できる運用・搬出システムの構築。